



学校新聞 竜谷通信



令和8年9月
第5号

げんきな子
がんばる子
すなおな子
くふうする子



PTA役員さんによる、スーパーボールすくい、射的、ストラックアウトなどの様々なブース。今年度の役員さんのご提案により、高学年児童を中心に、運営に関わらせていただく姿が、あちらこちらで見られました。



夏祭りに向けた盆踊りの練習会は、全部で四回。とてもたくさんの方の振り付けを、全て覚えてみえる方々がたくさんいらしてびっくりします。竜谷っ子たちも、練習会や、当日の踊りの輪にもっともっと加われたら素敵ですね。

この地域が好きだから

校長 手島 露子

この夏も、学区の夏祭りの準備や片付け、盆踊りの練習などに参加させていただきました。竜谷っ子が大好きな地域の大きなイベントです。

夏祭り当日、天気予報では強い雨雲の接近が予想されていました。空模様を気にしながらプログラムが進む中、社会教育委員長さんが空を見上げて、力強くひと言。

「雨雲、どうかあっちへ行ってくれ」

その願いが通じたのか、最後まで雨に降られることなく、多くの子供たちや地域の方々の笑顔に包まれた夏祭りとなりました。

そして翌日。明け方、市内各所では激しい雨が降りました。しかし、うまい具合に竜谷地区を避けてくれたようで、地面もテントも乾いたままです。予定どおり早朝から片付けを進め、すべてを終えたその途端。空が暗くなり、猛烈な雨が降り始めたのです。顔を見合わせる皆さん。その表情には安堵と達成感がにじんでいました。「雨雲も、片付けが終わるのを待っていてくれたのかもしれない」と言ってしまうくらいの絶妙なタイミングでした。しかし、私の心に一番残ったのは天気のこと

ではありません。猛暑の中、早朝から会場準備に汗を流す方々。実行委員長さんを中心に、運営のために走り回る方々。祭りが終われば黙々と片付けを進める方々。その一人一人の姿でした。子供たちや地域の方々が触れ合い、楽しむ数時間のために、多くの方がたくさん時間と労力を費やしています。しかも、そこに見返りを求める姿はありません。なぜ、そこまでできるのでしょうか。

それはきっと、この地域が好きだから。この地域の子供たちを大切にしてくださっているから。その思いに尽きるように感じます。

夏祭りの賑わいの裏にも、子供たちの笑顔の裏にも、人知れず力を尽くしてくださる方々の存在があります。ほんの一端ではありますが、地域の皆様と共に活動する中で、その温かな地域愛に改めて触れることができました。子供たちの心に、地域のために汗を流す大人たちの姿が刻まれ、いつの日か、ふるさとを愛し、ふるさとを支える人へと成長してくれることを願っています。

コミュニティ・スクール

CS座談会を行いました

8月22日（土）、竜谷小学校運営協議会座談会を開催しました。目的は、学校運営協議会の役割と、地域と学校が連携・協働する意義を共有するとともに、学校の現状、子供たちや地域を取り巻く現状と課題、学校、保護者、地域の連携の在り方などを、ゆっくりと語り合うことです。

暑期中、学校運営協議会委員の皆様、地域、社教委員の皆様、本活動に関心をお持ちの方が、集まってくださいました。

「お年寄り、若い人、子供がつながる地域に」「豊かな自然と、適度な児童数が竜谷学区の魅力」「縦割り活動があるのが竜谷小のよさ」「部活動にかわる活動ができたなら」「今ある『盆踊り』や『学区みんなで歩こう会』の活性化を」など、話は尽きませんでした。

今後は、学校運営協議会委員の方が先進校視察に行かれるとともに、次の座談会も計画しています。より多くの皆様に関心をお寄せいただけましたら幸いです。



和やかな雰囲気の中、地域ととともにある学校を目指し意見を交流しました

☆昨年度の「本の世界に出かけよう！」に続く新コーナー☆

実は私・・・〇〇です

人は、相手のことを知ることで親しみや安心感を抱くといわれます。・・・そこで、地域・保護者の皆さまに、竜谷小学校を、今まで以上に身近に感じていただくきっかけになればとの思いから、職員が「実は私、〇〇なんです」と、自分の趣味や好きなこと、意外な一面などを紹介させていただきます。職員の人柄にも、触れていただけましたら幸いです。

実は私、図書館ウォーカーです。

旅先や出張先で、少しの時間を見つけては、その土地の図書館を訪ね歩いています。施設のコンセプトや蔵書の並び方には、それぞれの地域らしさが表れています。本棚の間を歩いたり、静かな閲覧室で本を読んだり考え事をしたりするのは、至福の時間です。この夏、お休みらしいお休みはとれませんでした。それでも時間を見つけては、金沢海みらい図書館、おおぶ文化交流の杜図書館、豊橋まちなか図書館、福井県立図書館など、様々な図書館を訪れました。一番感激したのは、念願だった石川県立図書館に行けたことです。圧巻の円形書架。ここに住みたくなってしまうほどでした。

新しい本との出会いはもちろん、人やまちの魅力を発見できることも、図書館巡りの楽しみの一つです。 【校長 手島 露子】



何度でも行きたい本の楽園

まなびの窓



自分の身体との適切な向き合い方を学びました

今月は、市役所や岡崎警察の方による「薬物乱用防止教室（6年生）」や、学校保健委員会等による「デジタル機器との向き合い方」のお話など、健康について学ぶ機会が多くありました。皆さんの体は、今だけでなく、大人になってからもずっと使い続ける大切なものです。教えていただいたことを生かし、自分の体を一生の宝物として、しっかり守っていきましょう。



こんな家に住みたいな・・・と、思いを込めました

4年生が、おかざき世界子ども美術博物館の「造形教室」に出かけました。

「ようこそ！ワクワク未来パークへ」のテーマで、粘土で自分の夢が詰まった家を作りました。帰ってきた4年生は、みんな満足顔。完成した力作は、11月7日、8日のおかざき子展に展示します。